

# 平成23年度みやこ町海外ホームステイ

成長の夏～発見がいっぱい！シンガポールで広い視野を身につけよう

## 2011 Singapore 報告書集



みやこ町



## 目次

1. 團員名簿	P 2
2. 行程	P 6
3. 報告書	P 16
4. 事前研修	P 48



# 1. 団員名簿

## 1 班



豊津中学校2年



伊良原中学校3年



豊津中学校3年



豊津中学校2年

### ホストファミリー

NAME: MDM YATI

ADDRESS: BLK 769 # 06-140 WOODLANDS  
DRIVE SPORE

\* MALAY (イスラム教)

### ホストファミリー

NAME: MDM LELA

ADDRESS: BLK 485 03-361 PASIR RIS DR 4  
SPORE 510485

\* MALAY (イスラム教)

● シンガポールで調べてきたこと ● 現地にある日本企業で教えてもらった事

① 宗教よりの違い

- ・主食は米です。
- ・食事では右手を使う。
- ・食べ物によってスプーンとフォークを使う。スプーンがナイフの代わりです。
- ・断食がある。
- ・起床時間が早い。朝食は5時過ぎ。

② 家庭でのエコな活動について

- ・電気を必要以上につけない。
- ・朝の涼しい時間は窓を開けている。

○ クレアシンガポール事務所

- ・道路標識の「宇」のマークは、バイクの人の雨やどりをする場所のこと。

○ カの源カンパニー

- ・一風堂の進化し続けている理由…

企業理念 「変わらないためにこれがモットー! 愛わり続ける」

木鼓集団「タオ」と「アホホ」一風堂

ラーメン 1 赤丸班



# 2 班



育徳館中学校 3年



豊津中学校 2年



豊津中学校 1年



犀川中学校 2年

## ホストファミリー

NAME : MDM ROSNAH SENO

ADDRESS : BLK 123 D # 05-163 RIVERVALE  
DRIVE SPORE 544123

\* MALAY (イスラム教)

## ホストファミリー

NAME : MR OMAR

ADDRESS : BLK 108 02-71 PASIR RIS ST 11  
SPORE 510108




\* MALAY (イスラム教)

2班 <sup>テーマ</sup> シンガポールではやっているスポーツは？

→ シンガポールではやっているスポーツは…  
サッカーと卓球です  
が プレーするチャンスがありませんでした…

ホストファミリーとTVゲームで、サッカーのゲームをしました。  
日本と同じ、ソニーのプレステ3でした。

これがシンガポールの遊びです。  
前にあるものは1回で30分以上かかるゲームで  
奥にあるものはおぼじきとビリヤードの中間くらい  
遊びです。



# 3 班



犀川中学校 3年



豊津中学校 2年



育徳館中学校 3年



豊津中学校 3年

## ホストファミリー

NAME : MDM AGNES

ADDRESS : NO 33 PARRY TERRACE SPORE  
547132

\* CHINESE (仏教徒)

## ホストファミリー

NAME : MDM WANNA

ADDRESS: BLK 831 # 04-13 WOODLANDS ST 83  
SPORE730813


\* MALAY (イスラム教)

### テーマ1 3班の シンガポールの生活

#### 食生活

シンガポールには、チキンライス以外郷土料理がなく、それは多民族国家のためである。例をあげてみると中国料理である餃子、日本料理であるラーメンなどがあった。食事の時間帯は宗教によって異なる。イスラム教は断食中(1時間)太陽が出ている間飲食できない。

シンガポールに行くと食べ物のはほとんどが日本と比べてお代付けが濃いため、日本人の胃には少しきつても、シンガポールの人々は胃が強いのだと見えた。



#### 伝統文化 <フオウカン文化>


フオウカンは、15世紀後半からマレーシアやシンガポールにやってきた中国系移民の子孫。彼らは現地の女性と結婚。

フオウカンの建築物にはジョウハウス(テラスハウス)という物があり特徴は開口が狭く、奥行きが深い。まるで京都の町屋のような語りかけが隣り合った状態で建てられる。

#### テーマ2 日本との違い

日用品  
水は日本→約100円  
シンガポール→約110円  
シンガポールの方が物や高めたばかりの商品のほとんどが日本と比べると、物価が安かった。

風景や町並み



# 4 班



勝山中学校3年



豊津中学校2年



育徳館中学校2年



犀川中学校3年

## ホストファミリー

NAME : MDM TRACY  
 ADDRESS: BLK 2C # 02-15 CARISSA PARK  
 FLORA DRIVE  
 \* CHINESE (仏教徒)

## ホストファミリー

NAME : MR HAJI BAKRI SAHRI  
 ADDRESS : 25 A JALAN HAJI SALAM  
 \* MALAY (イスラム教)





## 2. 行程

日にち	時間	内容		食事・宿泊先	
7日 (日)	6:00	集合	町役場玄関前		
	6:10-6:20	出発式	派遣中学生代表者挨拶など		
	6:30	福岡空港へ出発	町バスに乗車	昼食	機内
	10:15	福岡空港発(SQ655)	(昼食)		
	15:25	シンガポール着(チャンギ空港)	入国手続き	夕食	焼肉料理 【KUBLAI KHAN MONGOLIAN B.B.Q】
	17:00	夕食			
	18:10	コンビニ	水等を購入		
	19:00	ホテル到着	【Grand Pacific Hotel Singapore】 101 Victoria Street Singapore 188018 TEL:(65)6336-0811 FAX:(65)6339-7019	宿泊先:ホテル	
22:00	就寝				
8日 (月)	7:00	朝食		朝食	ホテル
	8:00	集合	ホテルロビーに集合		
	8:10	ホテルを出発		昼食	学校内レストラン
	8:30	シンガポールの生徒達と交流しよう！ ／語学研修  9:00 ウェルカムスピーチ、学校内の説明等 9:30-10:30 1時間目 10:30-10:45 休憩タイム 10:45-11:45 2時間目 11:55-12:55 3時間目	【JAMIYAH BUSINESS SCHOOL】 970 Geylang Road, Tristar Complex #02-03,Singapore 423492 TEL:(65) 6478-0456 FAX:(65) 6478-0457		
	14:30	ホストファミリーとの対面式	連絡事項・注意事項		
	15:00	ホストファミリー宅へ出発			
	9日 (火)	終日	ホームステイ		食事・宿泊先: ホームステイ
10日 (水)	終日	ホームステイ			

8月7日(日)～13日(土)シンガポール

11日 (木)		朝食後、ホストファミリー宅を出発		朝食	ホームステイ
	8:00	集合	Grand Pacific Hotel Singaporeに集合		
	8:30	ホストファミリーとお別れ			
	9:10	ホテルを出発			
	9:30	シンガポールについて学ぼう&海外進出している日本企業*で働く人からお話を聞こう 9:45-10:45 クレアシンガポール事務所 10:45-11:15 九州電力シンガポール事務所 11:30-12:00 安川電機シンガポール株式会社 12:00-12:30 一風堂シンガポール社 *福岡県に縁のある企業	【(財)自治体国際化協会(CLAIR/クリア)シンガポール事務所】 The Japan Council of Local Authorities for International Relations, Singapore (CLAIR, Singapore) 6 Battery Road #31-02, Singapore 049909 TEL:(65)6224-7927 FAX:(65)6224-7927	昼食	一風堂ラーメン 【Ippudo Tao】
	12:50	昼食			
	14:30-16:00	シンガポールのバイオポリスを見学しよう!	【(財)科学技術振興機構】 Japan Science and Technology Agency(JST) 11 Biopolis Way #07-12 Helios Singapore 138667 TEL: (65)6478-9707	夕食	ビュッフェ 【PAN PACIFIC HOTEL SINGAPORE /GROBAL KITCHIN】
	17:00	水陸両用ダックツアー体験乗車	(所要時間:50分)		
	18:30	夕食			
	20:10	ホテル到着		宿泊先:ホテル	
22:00	就寝				
12日 (金)	7:00	朝食	ホテル1階レストラン	朝食	ホテル
	8:30	ホテル出発			
	9:00-9:30	オールドフォード歴史博物館			
	10:00-10:15	バトルボックス(フォートカニングパーク)		昼食	飲茶 【Padang Palace Restaurant/Singapore Recreation Club】
	10:30-11:30	シンガポール国立博物館			
	12:00	昼食			
	13:30-15:30	一風堂(企業視察)	Ippudo Singapore Pte.Ltd 333A Orchard Road, #04-02/03/04, Singapore 238897 TEL:(65)6235-2797		
	16:30-17:30	三井ハイテック(企業視察)	【Mitsui High-tec(Singapore)Pte.Ltd】 37 Tuas Avenue 8 Singapore 639249 TEL:(65)6897-8900 FAX:(65)6897-8177	夕食	チキンライス 【Mandarin Hotel/Chatter Box】
	18:30	夕食			
	19:30	夕食後、お買いもの	免税店又はショッピングセンター	宿泊先:機内	
20:30	チャンギ空港へ移動				
21:00	チャンギ空港到着	出国手続き等			
13日 (土)	1:00	シンガポール発(SQ656)	(朝食)	朝食	機内
	8:10	福岡空港到着	入国手続き		
	9:00	福岡空港出発	町バスに乗車		
	11:30	みやこ町到着	町役場玄関前		
	11:45	到着式	派遣中学生代表者挨拶など		
	12:00	解散			



8月7日(日)

- 出発式 代表挨拶 (豊津中学校 2年)



- 福岡空港出発 SQ655便 10:15発 (約6時間)

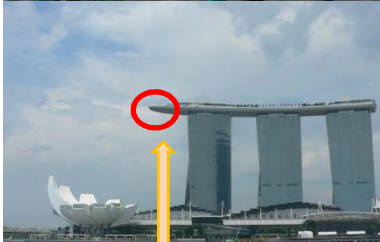


- シンガポール

チャンギ国際空港第3ターミナルに到着

- 現地添乗員 JACK TAN さんがお出迎え

- マリーナ・ベイ・サンズの展望台へ



スカイタワー展望台 53階



- シンガポールで初めてのお買いもの



宿泊：HOTEL GRAND PACIFIC



8月8日(月)

● 語学研修 (シンガポールの生徒達と授業を一緒に受け、ゲーム等をして交流しました。)





● ホストファミリーとの対面式





8月11日(木)

● お世話になったホストファミリーとお別れ(ホームステイ3泊を終えて全員元気に集合)



● (財)自治体国際化協会 (CLAIR) シンガポール事務所にて  
海外で活躍する日本企業の皆様からの講義



シンガポールの概要(政府の政策、歴史、交通、気候など)について、わかりやすく説明してくれました。  
CLAIR シンガポール事務所  
中村さん



九州電力(株)シンガポール事務所  
松元さん  
「今できること(勉強、部活、語学など)にしっかり取り組んで、自分で考えて行動し、周囲の意見を聞きながら問題解決することが将来の糧になります。」





YASUKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE LTD  
清宮さん・石田さん

「コミュニケーションが大事。英語と中国語を勉強していると仕事に役立ちます。」

- 安川電機は 100 歳を迎える
- 競合他社と切磋琢磨『目指せ!東南アジアNo.1』



(株)力の源カンパニー < 博多 一風堂 > 奥長さん

「どんな人間になりたいか、どんな仕事をしたいのかといった信念が大事。多くの仲間がいることで夢が叶います。」

- ラーメンを通じて、日本や福岡は素晴らしいと世界に伝えている
- 社名の由来は「みんなの笑顔が力の源(もと)」





● JST（科学技術振興機構）シンガポール事務所



JST シンガポール事務所 山下さん

「シンガポールには土地や資源が少ないため、優秀な人材を世界中から呼び込み、大きな土地が必要でないバイオ産業などに絞って誘致して工夫している。」

- ・下水を飲料水にする技術開発（NEW WATER）



早稲田大学研究室  
酒井先生達が案内  
してくれました。



● ダックツアー（水陸両用車）



8月12日（金）



● ホテル出発

いつもドアを開け閉めしてくれたホテルのスタッフさんと一緒に撮影。

朝食レストランでは、日本の芸人に似ている韓国系のイケメンがいました。（写真は報告書集に掲載しています。）



●戦争歴史の勉強

- ・ Memories at OLD FORD FACTORY
- ・ フォートカニングパーク THE BATTLE BOX

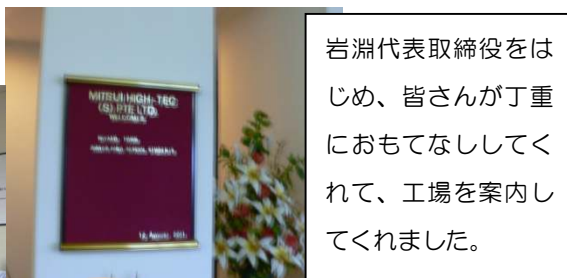


●一風堂ラーメンの製麺工場見学



カの源カンパニーの奥長さん、山根さんや You&Me Food Factory Pte Ltd 山内さんが麺やスープについて説明して工場内を案内してくれました。

●三井ハイテックシンガポール社の工場見学



岩淵代表取締役をはじめ、皆さんが丁寧におもてなししてくれて、工場を案内してくれました。

Mitsui High-tec(Singapore)Pte.Ltd 真崎さん  
 「海外スタッフは日本人と異なる発想をすることがある。物事を広く考えることができる。これらの意見をまとめることは大変であるものの、得られる効果が非常に高いです。」  
 「世界に羽ばたく人材になってください。」





● チャンギ国際空港にて、皆から大人気だったジャックさんとお別れです。



8月13日(土)

● チャンギ国際空港 (シンガポール) 出発 SQ656便 1:00発

● 福岡空港 8:10到着



● 到着式 代表挨拶  
(育徳館中学校3年)





## シンガポールに行って

(豊津中学校2年)



私はシンガポールに行く前に、事前にシンガポールの住民と宗教のことを調べていました。また、ハンドブックに「街並みがきれい」と書かれていたので、頭の中でシンガポールの街並み、人を想像していました。

まず、シンガポールに行くと、花や木が多いと思いました。これは知っていたことですが、私の想像していた以上に本当にきれいでした。高いビルやマンションが並ぶ都会なのに、木がたくさんあるのはとても不思議でした。

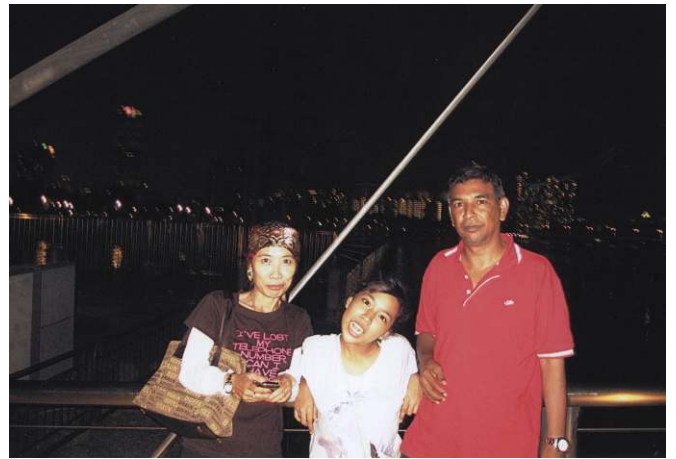
また、日本企業の海外へ進出のすごさには驚きました。福岡県に関係の深い企業の会社がシンガポールにあるのに、驚きと共に誇らしかったです。そこで一番印象が強かったのは「一風堂」です。工場見学をさせてもらいましたが、日本とシンガポールでは食材の関係で問題があるようでした。それでも海外で日本と同じラーメンを作ろうとしたことは、素晴らしいと思いました。

そして、私達には事前研修で決めた二つの課題がありました。班によって違いますが、一つは宗教によっての違いを詳しく、もう一つは家庭でのエコな活動について、調べてくることです。

宗教ですが、私のホームステイ先のホストファミリーの方々にはイスラム教の人達でした。食事の際には、食べ物によってスプーンやフォークを使っていました。イスラム教といたら右手を使って食事するイメージがあったので意外でした。服装の面では、ホストファミリーのお母さんだけが、外出をするときに頭にスカーフのようなものをまいていました。

家庭でのエコな活動については、プラスチックと生ゴミを分けるという点が日本と共通していました。また、私が感心したのは、電気をあまりつけないところです。朝から夕方五時くらいまでは日の光で、外が暗くなり始めてから電気をつける、といった感じでした。私は普段家で昼間でも電気をつけているので、気を付けようと思いました。

今回のホームステイ事業で最も困ったのは言葉です。現地の学校の方達と交流をした時もそうでしたが、一番大きな壁でした。ホームステイ先でもそのことで最初は戸惑いましたが、それもすぐに慣れてきました。今思うと、もう少し積極的に話しかければ良かったです。このホームステイでは、二度とない体験をさせてもらいました。日本に帰ってから私は、少しだけ節電を心がけるようになりました。それも、ホームステイをしたからこそその行動だと思います。



# Fujino Chisato





(伊良原中学校3年)



今回、このホームステイ事業に参加させていただき、私は初めての海外、初めてのホームステイということもありワクワク感と緊張感でいっぱいでした。

私達の課題目標は食文化について、エコ活動について調べることでした。

今回、ホームステイをして次のことがわかりました。

まず、食文化については食事は右手のみで食べるが食べ物によってスプーンとフォークなどを使用していました。私が行ったホームステイ先では、ほとんどスプーンとフォークを使ってスプーンはナイフがわりにして食べていました。食事の際には、左手を使わないことと、豚肉を食べないこと以外はそれほど厳しいきまりはない様子でした。

エコ活動については、電気をあまりつけなかったり、こまめに消していました。特別なエコ活動をしているわけではなく日本と同じように、みじかなエコ活動をしていました。そして、ホームステイをして驚くことがたくさんありました。

家族のみなさんは断食をしていて、みんなで食事をとることはほとんどないことや朝がはやいこと。私がホームステイした家族は朝5時に朝食を食べていました。他にも夜、ショッピングなど活動することが多いことです。また、このホームステイで言葉もあまり通じない家族とジェスチャーや知っている英語の単語を使って会話のできたので自分自身、自信ができました。

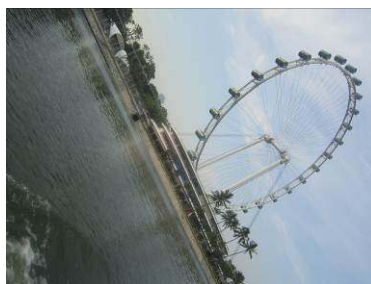
そして、自分の家は自分の好きな時間に好きなことができ、好きなものが食べれて、あまえられる頼れる家族がいて幸せだなと思いました。だからこそ、これからはこの幸せをあたりまえと思うのではなく、大切にしていきます。

企業の方からのお話では、シンガポールは雷が多いので電線を地面にうめていることや道路に書かれたジグザグは少しの停車はいいが長い間の停車はいけないという意味などたくさんを学びました。

今回、シンガポールに行って日本とはまったく違う景色や文化にふれて、いろんな人と交流して、考え方も変わり、ひろがりました。とても楽しかったし一生の思い出になる体験ができました。



Miyao Aya





## 海外に行って思った事

(豊津中学校3年)



私は平成二十三年度みやこ町海外ホームステイでシンガポールに行きました。以前私はシンガポールは「世界一キレイな国」と聞いた事がありました。しかし実際に行ってみて思った事は、駅にはゴミを捨てたら罰金と書かれていたのですが、そこにはたくさんのお菓子などのゴミが落ちていました。私はそれを見てテレビとかではシンガポールはキレイな国だと言っているけど、まわりが思っている程キレイな国ではないと思いました。

それからホームステイ先に行って家族とも対面しました。私のホストファミリーは子供が四人もいて、お父さんとお母さんの六人家族でした。とてもにぎやかな家族で楽しかったです。その中でも一番交流があったのは、末っ子で十歳のアインでした。アインとはトランプでババぬきをしたり、ウノをしたりしました。シンガポールの遊びも教えてくれました。長女のカカは一週間お風呂に入っても消えない、というシンガポール特有の絵を手を書いてくれました。いい思い出になったなと思いました。

そのホームステイ先で一番驚いた事は、トイレトペーパーがなかった事です。駅などの公共の施設にはあったのですが、私が泊まった家にはなく持って行っていたポケットティッシュを使いました。すごく大変だったけど、海外に行ったからこそ体験出来たんだなと思いました。

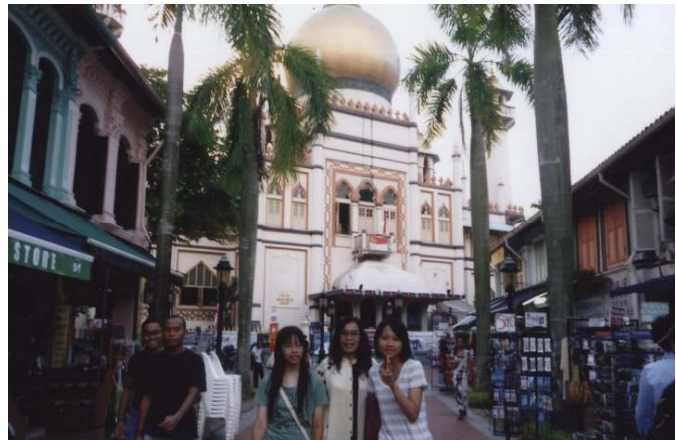
私のホストファミリーはイスラム教でした。イスラム教には「断食をする」という習慣がありました。断食とは日が昇っている時間にご飯を食べない、ということです。私がホームステイしている間もお姉ちゃんは朝食を食べているけど、お母さんとお兄ちゃんは何も食べていないという事がありました。日本ではありえない事なので、すごいなと思いました。また今、シンガポールが円高だったので、とても安く買い物が出来ました。例えばシンガポールにしかないマーライオンTシャツが四枚で十ドルでした。一ドルが約八十円くらいなので、日本円でいうと四枚で約八百円でした。すごく安くていいなと思ったのでお土産に買って帰りました。すると生地が薄くて、あまり着心地が良くなかったみたいでした。日本は値段にかかわらず着心地が悪いのはなかなかないので、着る物は日本の方がいいのかなと思いました。

最後にシンガポールで一番いいなと思った事はバスでの事でした。シンガポールでは有名なナツメという食べ物をバスで食べていました。それをホストファミリーの一人が全然知らない人にも配っていました。日本にはそんな親切な人はなかなかいないのでとても感動しました。

これからはホームステイに行った事を生かして、みやこ町の役に立てる様な親切な人になりたいです。



# Takaki Minami





## 宗教の違い

(豊津中学校2年)



わたしたち一班のテーマは「シンガポールと日本の宗教の違い」でした。わたしはその中の“食文化”にテーマをしぼって調べていきました。

まずシンガポールへ行く前に調べたことが「シンガポールにはいろんな人種が集まっているため料理のレパートリーが広いこと、宗教によって食べてはいけないものがあること。」わたしのホームステイ先はイスラム教で豚を食べてはいけないと書いてありました。確かに今思えばホームステイ中豚らしいものは全く出ませんでした。次にホームステイ先で調べたいと思ったのは「主食は何なのか、三食食べるのか、食べる前にすることはあるのか」の三つです。

そしてホームステイ先で初めてご飯を食べるとき、さっそく驚いたことがご飯を手で食べていたことです。驚いて固まってるとお母さんがチャレンジしてみない、と聞いてきました。わたしにはそんな勇気はなかったから断りました。ずっと一緒にいるとシンガポールに行く前調べたいと言っていた三つがだんだんわかってきました。一つ目の主食は何なのか。これはきっとわたしたちと同じでお米だと思います。お米の上に何かをのっけて食べるスタイルが多かったです。ちなみにパンは一度も出ませんでした。二つ目の三食食べるのか。多分三食食べます。しかし今は宗教の関係で断食の時期で日が昇っている間は食べてはいけないからよくわかりませんでした。でも私が三食食べると思ったのはわたしたちには朝、昼、晩、ちゃんと出してくれたからです。三つ目の食べる前にすることはあるのか。日本では食べる前に「いただきます」と言いますがイスラム教ではあるのか。わたしの目でちゃんと見たところ、ありませんでした。何もせずすぐに食べていました。

シンガポールの料理はやはり調べたときに書かれていたようにさまざまでそしておいしく、わたしはシンガポールなら住めるとまで思いました。でもシンガポールにはいろんな料理があるのは知っていましたがまさか日本の料理があったことに驚きました。百五円ずしっぽい店もありました。福岡にある一風堂ラーメンもあってなんだか感動しました。

人種気にせず差別もなくいろんなものをどんどん取り入れていくシンガポールはすごいなと思いました。日本も見習ってほしいです。



Murakami Marine





## シンガポールでの体験

(育徳館中学校3年)



僕はこのシンガポールでのホームステイでいろいろな体験をしてきました。初めて海外に行くまでに出国手続きが複雑で、国内で飛行機に乗るくらいだと思っていたら、とても大変でした。僕は飛行機が好きなので機内を少し観察してみたところ、男性CAさんが多いことに気付きました。女性CAはとてもきれいでした。

シンガポールに着いて二日目に、JBSという高校生から大学生くらいの人達が多い専門学校のようなところに行きました。そこでは料理、理科、数学、ITなどの授業が教室ごとに別れていました。僕達がそこで受けた授業は英語の文法で、全て英語でスラスラと言われたので、全く意味が分からなくて、日常で使わない外国語を聞き取るのがいかに難しいか分かりました。その後語学学校で対面式を終え、ホストファミリーのお母さんの車に乗ってみると、内装も外装も日本車と同じ車で、走っている車も新しく日本製のものが多く驚きました。ホストファミリーの家に着いて、夕食の前に家族全員が集まり、ラマダン明けには音楽が流れていました。二日目はナショナルデーといってシンガポールの独立記念日を祝う日でした。少し聞いたことはあったけど、パトカー、消防車、救急車、軍隊のショーが行われていて、花火が上がり、テレビ中継があり、みんなが赤や白のTシャツを着ていた姿は日本ではまずないことで、シンガポールの人々が明るくて楽しい人が多いことに気付きました。その日の夕食はホストファミリーのお母さんの親せきやその家族約二十人で集まって、みんなで食べました。日本のお盆のような感じでした。そこで右手で食べるマナーを教えてくださいました。その後、家に帰ってもみんなたくさん食べていました。これがラマダンの時の食生活かと感心しました。

僕がシンガポールで驚いたことはトイレ、食べ物、交通事情です。ホストファミリーの家のトイレには紙がなく、小さいシャワーのようなものがありました。なので最初を使うときにはとても迷い、使い慣れない英語で使い方を聞いたときには、意外にこういうところで英語が使えないととても困ることが分かりました。食べ物はとても辛かったけど、おいしかったです。車は制限速度が日本よりも高くて速く感じました。今回のホームステイで外国の人と仲良くするには、その国の言語や宗教、生活習慣などを理解する必要がありますと思いました。なので今は勉強、語学などを一生懸命頑張りたいです。次にシンガポールに行くときには、中国系やインド系の人の生活文化を知りたいです。



Matsumoto Masafumi



## 初めての海外

(豊津中学校2年)



8月7日午前5時、起きてから顔を洗って忘れ物がないかを最終確認してから、家から役場に向かって出発しました。そして、役場に、到着して、出発式を行いました。そして、出発式を終え、早速、スーツケースをバスの中に入れ、福岡空港に向けて出発しました。そして、意外にも早く到着して、色々な検査を終えて、飛行機の中に入りました。僕にとっては、初めてなので、少しわくわくしていました。席に座って、少しすると飛行機が飛びました。僕は少し興奮しました。そしてしばらくすると、イヤホンが配られました。僕は、映画を見たり、音楽を聞いたりしました。スチュワーデスが日本人だったのでちょっと驚きました。そして、昼食がおいしかったです。5時間ぐらいしてからチャンギ空港に到着しました。チャンギ空港では、ほとんどの人が英語や、中国語などでしゃべっていました。僕は、「シンガポールに来たんだな」と思いました。バスに乗ってから、バスガイドがいました。名前はジャックさんです。ジャックさんはとてもユニークな人で、さらに、日本語・英語・マレー語を話せるというのがすごいなと思いました。次に、マリーナベイサンズという場所に行きました。そして、そのの屋上に行きました。下を見ると人や車が小さくて、僕は高所恐怖症なので怖かったです。でも、よく見ると意外にマーライオンがありました。少し驚きました。そして、バスの中に戻りました。次にバイキングに行きました。そこのごはんはとてもおいしかったです。特においしかったのは、やきとりでした。そしてホテルに行き、荷物をホテルに置いてから、セブンイレブンに行きました。そこで、水とポカリを買おうとしたけれど、店員さんから、「小さいお金は」みたいなことを言われました。なぜなら、4ドルに対して50ドルではらうとおつりがでかすぎるだろうと僕は思いました。仕方なく2件目のセブンイレブンに行きました。そこで、さっきと同じ方法でやってみたらできました。そして、ホテルへ戻りました。けっこうつかれたので、10時ぐらいに寝ました。

2日目の朝、モーニングコールで目覚めました。急いで仕度してから、1階へ下りました。そこで朝食を食べてから、バスで学校に行きました。学校では、教室内を見て回ったりしました。日本の学校とはまったく違いました。そして、次にゲームをやりました。相手の顔を左手で描くというのがものすごく難しかったです。次にシンガポールの生徒達と一緒にストローでタワーを作るというものです。僕達と一緒にタワーを作ってくれる生徒はとても優しかったです。最後に、伝言ゲームをやりました。英語で伝えるので、とても難しかったです。そして、ゲームも終わってから昼食になりました。美味

でした。次にホストファミリーとの対面式が行われました。僕達のホームステイ先はセノさんの所でした。そこはマレー教でした。ごはんは、主に辛い食べ物でした。ホストファミリーに、お土産を渡すと、ホストファミリーはとても喜んでくれました。そして、2日目には、マーライオンの所に連れていってくれました。近くで見ると、思っていたよりも大きくて、マーライオンの後ろには、小さいマーライオンがいました。そして、ホストファミリーとのお別れの時、僕はもう少しだけ一緒にいたかったなと思いました。そして、ホストファミリーと別れ、次に向かった場所はクレアシンガポール事務所です。そこでは、シンガポールに進出している日本企業で働いている人からお話を聞きました。お話ししてくれた企業は、九州電力、安川電機、一風堂で働く方々です。どの話もためになる話でした。そして、話が終わると、一風堂ラーメンを食べました。とてもおいしかったです。食べ終わってから、バイオポリスという所へ見学に行きました。そこは、さまざまな科学実験が行われている所でした。僕はそこで汚染水を飲料水に変えた水を飲んでみました。味はふつうでした。でも飲み水に変えるのがすごいと思いました。そしてその後、ダックツアーに乗りました。水陸2つで走れたりするのはとてもすごかったです。ダックツアーでは、正面からマーライオンを見ることができました。そして、ダックツアーが終わり、ビュッフェを食べました。どの料理もおいしかったです。そしてホテルでは、2班の人全員で話をしていました。おもしろかったです。

次の日は、オールドフォード博物館やバトルボックスで、戦争の残酷さや悲惨を学び、平和が一番だと改めて知りました。そして、国立博物館ではジャックさんの案内で色々な物を見ました。そして、昼食の飲茶では、シューマイなどがおいしかったです。次に、一風堂の企業視察では、ラーメンのめんを束ねる体験を僕がしました。初めは簡単だと思い、やってみると意外にも、難しかったです。そして、三井ハイテックの企業視察では、部品一つ一つがすごかったです。そして、夕食のチキンライス、肉がとてもおいしかったです。次にショッピングモールへ行き、何となくサングラスを買いました。次にチャンギ空港の免税店では、マーライオンクッキーを6箱買いました。そして、出国の時、僕はまたシンガポールに來たいと思いました。そして、福岡空港に到着して、バスに乗り役場で到着式を行い解散しました。

今回のホームステイで、僕は色々な体験ができてよかったです。シンガポールでの体験を後の生活に使おうと思います。





## 海外ホームステイ事業

(豊津中学校1年)



僕は、初めてこの夏、シンガポールへ行きました。親元を離れてホームステイというのは、何度か、経験はあったのですが、異国の地というのは、言葉が通じないという大きな壁があったのですごく、不安でした。

飛行機に乗って6時間とても長かったけれど、シンガポールに無事着いた時は、とてもうれしかったです。

そして思ったことは、町のきれいさにびっくりしました。

そして、この1週間の中で感動したことは博物館での、写真の生々しい戦争の後や、当時、使われていた、お金や机、イスなどなかには、昔の物とは、思えない物までありました。66年たった今でも戦争が起きているということです。そして、博物館で戦争の恐ろしさや、平和の大切さや、命の尊さなどを知りました。この博物館では、すごく勉強になりもう二度と、戦争は繰り返してはいけないと僕は、強く思いました。

そして昔の人は、食べる物がなく、今はすごくぜい沢をしていると思い、僕たちは、恵まれていると思いました。

そして、ホームステイでは、ホストファミリーの人は、やさしくどこにでも、つれていってくれました。

とくに、シンガポールの誕生日の時には、パレードをしている所までつれていってくれました。すごく人が多くて、にぎやかでした。花火もすごくきれいでした。

次の日、マーライオンを見に行きました。目の前で見るとすごくでかくて、びっくりしました。マーライオンを近くから見るとすごい水しぶきがとんできました。最初は、雨かと思いました。でも、遠くの方を見るとふっていないことに気付き、「こんなに水しぶきがとんでくるんだなあ」と思いました。

こんなに楽しい、旅行は、初めてでした。

そして、この海外ホームステイ事業を同じ中学生に薦めていき、僕が、体験したシンガポールのすばらしいところを、このみやこ町に広めていきたいと思っています。

# Komori Daisuke





## 海外ホームステイに行って学んだ事

(犀川中学校2年)



僕は、8月7日に、海外ホームステイに、行ってきました。

事前研修で学んだ事をしっかりとできるか、海外ってどんなだろう、ホストファミリーと、コミュニケーションがとれるかなどと、いろいろと不安もありました。

だけど海外の文化や生活はどんなだろうと、楽しみもありました。

まずシンガポールに着いた時に、周りの人が皆外国人で、少し不安でした。

初日は、シンガポールを少し観光しました。

シンガポールフライヤーなど、周りの建物を見て、すごいなあと思いました。国ができてからまだ少ししかたっていないのに、すごく発展していたのでビックリしました。

ホテルに戻って、明日からホームステイなので、すごく緊張していました。

そして次の日に最初に学校で、シンガポールの人たちと、学校で授業をしました。

生徒の人たちもとても優しく接してくれたので楽しかったです。

そして学校にホストファミリーの人達が迎えに来て、対面式をしました。僕達は、その家族のお兄ちゃんが迎えに来てくれました。そして、ホストファミリーの家に行きました。

最初、家族の人達と話しました。だけど、言葉があまり分からなく困りました。そしてたら家族の人が、iPhoneで日本語に変えてくれました。僕は、分からない英語が多いけど、分かる事は、積極的に話せました。通じない事もあったけど、一生懸命わかってくれようとしたのでコミュニケーションがとれました。

そして3日間いろんな所につれていってもらったり、おいしい料理をごちそうしてくれたりしました。

そして最後の日に別れを言って3日間がおわりました。とても短く感じました。

家族の人はとても優しく温かい人でした。

別れるのは少しさびしかったです。

ホテルにもう1日泊まって、日本の会社で勉強して、次の日に日本に帰ってきました。

日本に帰って来て少し安心しました。

シンガポールに行って、文化や人の優しさなどいろいろな事を学んで、とても充実した事業になったと思います。

また機会があれば、海外に行ってみたいと思いました。



Tanaka Shotaro





## シンガポールで学んだこと

(犀川中学校3年)



私は、シンガポールに行ってきたくさんのことを学びました。

まず一つ目は、家族を大切にすることです。シンガポールに行くと言葉も生活習慣も違います。そして、いつもそばにいる家族もいません。私は、初めとても心配でした。でも、ホストファミリーの方達が家族のように優しくしてくれました。だから、私はとても安心できたし、とても楽しむことができました。やっぱり、いつも見守ってくれる家族を大切にしないといけないなあと思いました。

二つ目は、シンガポールのすごいところです。シンガポールは今年四十六歳の誕生日を迎えました。まだ、できたばかりの国ですがビルなどの建物や観光の場がとても発展しています。この短い間で、とても努力したんだと思います。しかし、まだ水不足という問題があるそうです。だから、ニューウォーターという水を作っているそうです。まだ、お金がかかるので、あまりありませんが汚染水などを利用して作るそうです。他にも、川を渡る舟や車など、ハイブリッドがとても人気だそうです。環境や水を守るために一生懸命に工夫しているのだと分かりました。日本も、このようなことを尊敬して、環境を守らなければいけないなあと思いました。今、東日本大震災で電気不足という問題が起きています。この問題も日本全体で解決しないといけないと思います。そして、日本人達みんなが、安心して不自由なく住めるようになったらいいなあと思いました。

最後に、シンガポールへ行かせてくれた家族や親戚、ホームステイにつれて行ってくださった方々、ホームステイ先の家族などたくさんの人に感謝しないといけないなあと思いました。とても良い体験ができたと思います。この体験を無駄にしないためにも、これからの生活に役立てていきたいと思いました。





Takeshita Ayaka





## みやこ町海外ホームステイ事業 に参加して

(豊津中学校2年)



私は、平成23年度みやこ町海外ホームステイ事業に参加して、シンガポールに行きました。シンガポールは「世界一きれいな国」と言われています。私もシンガポールはきれいだと思いました。私がホームステイに行った家は住宅地っぽい所で、そのほとんどの家の前にゴミ箱がおいてあって、地面に一つもゴミは落ちていませんでした。でも、夜ごはんを外で食べに行った時は、きれいな食べ方ではありませんでした。魚の骨とかふつうにテーブルに置いたりしていました。

私が行った所のホストファミリーは、三人と犬が一匹でした。でも23歳の息子のジェレミーは約一日ぐらいしかいませんでした。けど、お父さんとお母さんいろいろな所にたくさん行って、とても楽しかったです。

シンガポールには、日本のような切符がありませんでした。その代わりにみんな、カードを持っていて、バスも電車も同じ物を使っていて、とても便利だったし使いやすかったです。あと、家が二けんずつくっついているところが多かったのでびっくりしました。それに、よく見ると、ほとんどの家に車が一台ずつしかありませんでした。その理由は、だいぶあとに、ガイドさんのジャックが教えてくれました。シンガポールは、日本と違って人口が多いため、みんなが自分の車を持つと車が多すぎてじゅうたいするから大変だと言っていました。もう一つ、日本と違うところが、シンガポールの街中には電柱と電線がありませんでした。日本には、どこにでも電柱があって電線が張ってあります。でもシンガポールでは、「スコール」という雨がよく降り、雷が落ちたりするため、停電などを防ぐために電線を地中に埋めているそうです。そういう工夫した所がすごいなと思いました。

でも、やっぱり一番印象深かったのは、食事に関することでした。食事は、すべて外食でした。ホストファミリーは中国系の家族だったので味の濃ゆいものばかりでした。ラーメンの麺が白くて平らでその上に小魚を揚げたものを乗せた物とか生卵にソースをかけてそのまま食べたり、日本じゃあまり考えられないような物もあれば、マフィンといった日本にもあるような食べ物もありました。私にシンガポール料理は合わないなと思いました。ほかにも、たくさん日本と違った異文化があっっておもしろかったです。この事業に参加して、学んだことや経験したことを今後生かしていきたいと思います。



# Sakiyama Tsukimi





## ホームステイを終えて

(育徳館中学校3年)



私は、シンガポールへホームステイに行き、自分のテーマに沿った様々な事を学ぶ事が出来た。私のテーマは、シンガポールの生活から伝統文化、食生活、日常生活についてと、日本との違いからシンガポールの風景や町並み、物価についてだ。

最初に、シンガポールの生活についてだ。シンガポールの伝統文化に、プラナカン文化というものがある。プラナカンとは、15世紀後半からマレーシアやシンガポールにやってきた中国系移民の子孫で、彼らは現地の女性と結婚した。そして、プラナカンの建築物に、テラスハウスというものがある。特徴として、明るいパステルカラー、間口が狭く奥行きが深い、まるで、京都の町屋の様な造りだ。数件が隣り合った状態で建てられている。食生活では、シンガポールは多民族国家の為、インドのカレーナンや中国の飲茶、日本のちゃんぽんの様なもの等たくさんの国の料理があった。特に美味しかったのが、シンガポールの郷土料理である、チキンライスだ。日本でいうチキンライスとは違い、チキンとライスが別々でソースが3種類あり、醤油、しょうが、チリソースだった。私は、辛いのが苦手な為、醤油が一番美味しく感じた。その醤油は、中国醤油といってドロドロしていたが、味は日本の醤油と何の変わりも無かった。日常生活は、宗教によって違うようだ。私のホームステイ先の家はイスラム教で、ちょうど断食の時期だった。断食とは、日が出ている間は飲食が出来ないという事だ。それは1ヶ月間あり、断食が終わると御馳走を用意して、パーティの様な事をするそうだ。

次に、日本との違いについてだ。シンガポールの風景や町並みで、私は気になった事が3つあった。それは、なぜか電線が無いのか、道の白線がジグザグになっていたがどういう意味なのか、通路標識にかさマークがあったがどういう意味なのか。その答えとして、電線が無いのはスコールが多いからそうだ。雷も多く、落ちて停電する事が無いようにする為、地中に埋めているそうだ。道の白線がジグザグだった意味は、停車は出来るが駐車は出来無いという事だった。他にも二重線の白線があり、それは停車も駐車も出来ないという事だった。道路標識のかさマークの意味は、シンガポールは急な激しいスコールが多く、バイクに乗っている人が雨宿り出来るようにする為という事だった。物価は、日本のコンビニで500mlの水を買うと150円かかるが、シンガポールで買うと約130円。よって、日本よりシンガポールの方が物価が安いという事だ。

私は、シンガポールに6日間滞在して言語の違いだけでなく、宗教や生活にも違いがある事が分かった。それは、ホームステイ中にとっても実感したことだった。特に、宗教

の違いは大きいものだった。断食をしたり、1日5回もアラビア語の祈りの本を読んだり、豚肉が食べられなかったり様々な決まり事があって大変そうだなと思った。だが、ホームステイ先の家族は全く大変そうな素振りも見せず楽しそうだった。私は、世界には色んな人がいて色んな宗教があるのだと思った。今、私が見ている世界は狭いと思った。しかし、このホームステイのおかげで私自身の視野が広がり、色んな事に興味が湧いてきた。これからも、人とのつながりを大切にして、将来の為に自分自身を大きく成長させていきたい。ホームステイに参加させて頂いて本当にありがとうございました。



Kibata Hazuki





## ホームステイを終えて…

(豊津中学校3年)



私達は五回の事前研修を終えて、一週間シンガポールに行き、間の三日間はホームステイをしました。

八月七日、一日目は乗り物の中ばかりだったから、かなり疲れました。飛行機の中の機内食は美味しかったです。チャンギ空港に着いてから、バスガイドのジャックと一緒に MARINA BAY に行きました。すごく高くて怖かったけど、結構景色は綺麗でした。マーライオンの写真を、前から撮れたことがうれしかったです。夜ご飯は、まあまあ美味しかったです。

八月八日、二日目は朝からシンガポールの学校に行きました。自由交流のとき言葉が伝わらないのに、キレずに優しく伝えようとしてくれたのが嬉しかったです。自由交流が終わってから、ホストファミリーとの対面式がありました。私とはあーちゃんを受け入れてくれる家族は、凄く優しくそうでよかったです。対面式が終わり、皆それぞれの家族と一緒に帰りました。私達は家に帰る前に、マーライオンのところに行きました。写真だけ撮って帰りました。帰ってから片づけをしている間に、ママがご飯を作ってくれていました。ご飯ができて七時一六分になるまで待ち、皆でご飯を食べました。ご飯を食べた後は、一カ月に一回しかないナイトショッピングに行きました。凄くにぎやかで楽しかったです。帰ってからお風呂に入って寝ました。

八月九日、ホームステイ二日目は、朝起きてから近所の公園や学校とかを案内してくれました。それから家に帰って、独立記念日の祭に行く準備をしました。準備ができて、会場みたいなどこの近くに行きました。そこに行ったら、赤と白の服を着た人ばかりでした。花火がいっぱいあがって、凄く綺麗でした。帰りは、二十四時間営業のショッピングセンターで買い物をして帰りました。帰ってからお風呂に入り、上がってからホームステイ先の子供と四人で、二時までばばぬきで盛り上がりました。

八月十日、ホームステイ三日目は、バスに乗ってチャイナタウンに行きました。よく分からなかったけど面白かったです。帰りはパパが迎えに来てくれてそのままご飯食べに行きました。人が多すぎて座れなかったから、買って帰って食べました。ご飯を食べた後お風呂に入った後、ホームステイ先の子供と四人でまたトランプしました。この日は、ばばぬき以外のゲームを教えてあげました。トランプをしていたらママがいきなり「お土産を買ってないから、ショッピングに今から行こう」と言い出して、皆でショッピングに行きました。次の日は仕事とか学校で朝が早いから、凄く悪いなと思いました。買い物は、凄く安いお店に連れて行ってくれたからたくさん買いました。

八月十一日、シンガポール五日目は、朝六時に起きて準備をし、ママ以外の家族とお

別れをして、家を出ました。ホテルに結構早く着いたから、ママと三人で時間になるまで話をしていました。お別れのとき、正直凄く泣きそうでした。お別れした後皆でホテルを出発して、会社みたいなところに話を聞きに行きました。かなりお腹も空いていたし眠たかったから、早く終わってほしいと思っていました。(すみません) 話が終わったら、一風堂にラーメンを食べに行きました。初めて食べる一風堂のラーメンは、凄く美味しかったです。昼からは、見学とダックツアーに行きました。見学はよく分からなかったけど、ダックツアーは面白かったです。(アイスありがとうございます) 夜はホテルで、翔子ちゃんといっぱい語りました。翔子ちゃんと仲良くなれて良かったです。

八月十二日、シンガポール六日目は、博物館と工場に見学に行きました。博物館は、結構勉強になりました。一風堂の工場見学は面白かったけど、三井ハイテックのほうは凄いなと思いました。工場見学が終わって、夜ご飯を食べに行きました。私的にチキンライス、あまり好ましいものではなかったです。ご飯を食べてショッピングセンターに行き、空港に行きました。空港に行ってから結構時間があつたから、ジャックと写真を撮りまくりました。ジャックと別れるときに涙が出そうだったけど、無理矢理止めました。それから空港の中に入り、免税品店で買い物をして飛行機に乗りました。飛行機の中では映画を見ながら寝ました。飛行機の中から見えるシンガポールの夜景と星は、凄く綺麗でした。朝ご飯は機内食で、久しぶりの日本食はとっても美味しかったです。福岡空港に着いたのに、全く日本に戻ってきた感じがしませんでした。バスでみやこ町の役場まで戻ってきて親に会った時は、凄く懐かしく感じました。

一週間お世話になりました。ホームステイをしたあの三日間は、本当に勉強になったと思います。これに参加できて、本当によかったです。ありがとうございました。



## Tominaga Yuka





## ホームステイ報告書

(勝山中学校3年)



私は今回のホームステイ事業で初めて外国の生活や文化を肌で感じることができました。

そして実際に感じた文化のちがいや日本と似ていたところにおもしろさを感じました。

まず気になったのは、普段私達が身につけている服と同じようなかっこうをしている人がほとんどの中、点々というあざやかな民族衣装を着ている人たちのことです。

ホームステイの事前研修で学習していた、シンガポールは多民族国家であり、たくさんの宗教があるということであらためて認識しました。私のホームステイ先には民族衣装はなかったのですが、他の人達の話や写真を見せてもらうと色あざやかな民族衣装を貸りて着ていた人もいたようでした。色や形、着方も様々で興味深くきれいでした。

民族衣装の他にも多民族国家を表すものはたくさんあり、その一つに礼拝堂がありました。色々な種類のお寺や教会、私はその中でホームステイ中、中国系の人達のお寺に連れて行ってもらいました。日本のお寺にはないような派手な色できれいという印象をととても強く持ちました。お寺の中も外観もほとんど赤が使用されていて、主に茶色や黒などの色を使用している日本と反対だと思いました。

次は食文化。ホームステイ中私は色々な国の料理を食べさせてもらいました。中国、タイ、インド、マレーなどほんとに色々でしたが、日本でも似たような料理も多々あり、姿形がまったくちがうのに味だけ似ているものや、見た目と味が別々の料理に似ていたり、食べていて、もちろんおいしかったし、おもしろかったです。例に2つ紹介すると、フライドライスとカッピングフィッシュ。フライドライスは日本でいうチャーハンにそっくりでした。お米はタイ米を使っていたので日本で食べるよりもパサパサしておいしかったです。そしてカッピングフィッシュは見た目は球状でたこやきのようでしたが、味はかまぼこ。かまぼこを球状にしてあげたようで食べやすかったです。

このように色々な方向からシンガポールの特色を実際に見て、感じる事ができ、とても良い経験になりました。



Motomatsu Shoko





## シンガポールに行って学んだ事

(豊津中学校2年)



私は、「シンガポールに行ってよかった。」と思っています。理由は、楽しかったし、いろいろな事を学びました。例えば、シンガポールの人達は、母国語と英語の二ヶ国語をしゃべれるやシンガポールには電柱が無いのは雨が降ったら雷が落ちるので電線が地下にあるやシンガポールの意味や国旗の意味などいろいろな事でした。

シンガポールに着いた日に行った、マリーナ・ベイ・サンズから見た景色は、すごくきれいでした。マーライオンがすごく小さく見えました。

次の日のシンガポールの学校に行った時、ストローを高くつなげるゲームは、おもしろかったです。そして、ホストファミリーの家に行きました。家はとてもきれいでした。プールやテニスコートやジムが付いているマンションでした。家に着いて、荷物などおいて、買い物をしました。とても人が多かったです。ちょっと買い物をして、夜ご飯を食べに行きました。おいしかったけど、量が多かったです。でも、ライムジュースは、おいしかったです。次の日は、外で卓球したり、テニスしたり、泳いだり、サイクリングしたりしました。全部楽しかったけど、一番サイクリングが楽しかったです。元松さんと私は、二人乗り用の自転車に、元松さんが前で私ほうしりに乗りました。ホストファミリーのお母さんは、一人乗り用でした。とっても気持ちよかったです。あと、海がきれいでした。次の日は、朝から夜まで買い物をしました。チャイナタウンに行ったり、お寺に入ったりしました。そして、ショッピングモールみたいのに行きました。とても楽しかったです。その日の夜に、お姉ちゃんは、いませんが、みんなで写真を撮りました。ホームステイは、楽しかったです。

次の日、ホストファミリーとお別れしました。そして、みんなで写真を撮ってどっかのビルに行きました。ビルの中の壁に植物が育っててすごかったです。そして、いろいろな人の話を聞いて、一風堂のラーメンを食べました。おいしかったです。そして、バイオポリスに行って、ダックツアーに行きました。水に入るしゅんかんは、とっても、テンションが上がりました。いろいろ楽しかった事がありました。また行きたいです。





Yashima Iori





## 海外研修を終えて

(育徳館中学校2年)



私は、この海外研修を通して、2つ感じたことがあります。一つは、日本との文化の違いです。言葉や食事はもちろん、服装や日常生活の細かなことです。シンガポールの言語は、基本、英語です。研修の前にも、困った時の対応や、あいさつ、相手への尋ね方などたくさん勉強しました。しかし、研修に行ってみると、肝心な時に言葉が出てこなかったりし、身振り手振りで答えるのが精一杯でした。

食事は、日本に無いモノや、初めて見るモノがたくさんありました。中には、辛いモノや独特な味のするモノもあって、びっくりしました。

私が泊まった家のホストファミリーの皆さんは、イスラム教の方たちで、お出かけする時はほとんど肌を見せないし、食事の時は左手を使わないという習慣が、ありました。

しかし、そんな中で私が感じたもう一つのことは、シンガポールも日本も違う所だらけだけど、両方が良い文化だと言うことです。

シンガポールにあって日本にないモノ、日本にあってシンガポールにないモノ。それらが国と国を競い合わせて発展していく種になるんだと思います。

どちらの文化が正解とかはなく、両方の文化がもっている力を、これからのものばして行き、おたがいが、おたがいの文化を尊重し合い、交流をもっと、もっと深めて欲しいと思います。

最後に私が海外研修で学んだことを二つだけ紹介します。

一つ目は、相手の考え方を聞く姿勢をもつことです。

二つ目は、自分の考えをしっかりと相手に伝えることです。

つまり、私達は今出来ることにしっかり取り組んで、周囲の意見も踏まえ自分で考えて行動することが大切だと思いました。



Konishi Saki





(犀川中学校3年)



私は、今年ホームステイに行けてよかったなあと思います。  
6泊7日のシンガポールは、とても楽しくいい思い出が出来たと思います。その中で私が一番印象に残ったのは、クレアシンガポール事務所の方のシンガポールの概要の話です。シンガポールとみやこ町の距離は、約4500キロという事や、シンガポールはライオンの都市で、シンガはライオン、ポールは都市という事が分かりました。マーライオンは、上半身が名前の由来通りにライオンで、下半身は魚の像でかつて栄えた都市の名「タマセク」にちなみマーメイドと、シンガポールの名の元になったライオンを合体させて作ったという事やマーライオンの国で認められているのは5つだけという事も分かりました。その説明を聞いて、見ていないマーライオンも見てみたいなあと思いました。シンガポールの歴史では、1965年に独立をして私達がホームステイをしている8月9日に46歳の誕生日を迎えていました。その時のニュースでは、花火が上がっていたりしてとてもすごかったです。シンガポールの出生率は日本よりも少なく、日本と同じで子供や若い人が少ないという事や、家族と話す時は、それぞれの宗教の言葉で話すけど、みんなが集まる所では英語で話す事が分かりました。私たちと話す時も英語で話してくれたり、ジェスチャーを使って話してくれたので、とても分かりやすく、自分の気持ちも分かってもらえたので良かったです。

初めての海外は、においや食べ物や、シャワーしか使わなかったので始めは、驚いたけど楽しかったので良かったです。お世話になった方に感謝したいです。



*Iwamizu Kasumi*





## 4. 事前研修 全5回

第1回 6月24日(金) 19:00~21:00

■チャーリーが語るシンガポール～シンガポール入門編

講師：元国際交流員 チャールズ・フェル(UK)

■英会話①

講師：北九州YMCA チャールズ・アシュリー(USA)



第2回 7月1日(金) 19:00~21:30

■私たちの暮らしと経済

講師：福岡県金融広報委員会事務局長（日本銀行福岡支店営業課長）山口正俊

■渡航先でのルール～添乗員体験談

講師：西鉄旅行(株)北九州支店 茂悟史

■英会話②

■本日学んだことについて

第3回 7月15日(金) 19:00~21:00

■グループワーク

「シンガポールで調べてくることについて」





■英会話③

第4回 7月22日(金) 19:00~21:30

■シンガポールについて学ぶ

講師：福岡県環境部循環型社会推進課  
課長補佐 佐田昌彦

■英会話④

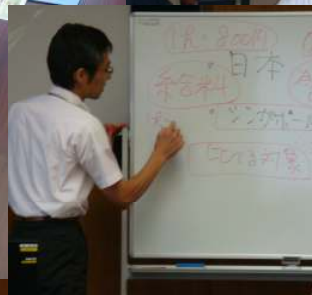
■本日学んだことについて

第5回 7月25日(月)

11:00~17:00

■日本銀行北九州支店見学

■ゼンリン地図の資料館見学







事前研修第3回(7月15日)  
 「シンガポールにて調べて  
 くること」を各班で話し合っ  
 て発表している様子です。  
 「みやこ町国際交流協会」の  
 皆さんが見学に来てくれま  
 した。(撮影：中村英彦さん)



## 随員スタッフ



みやこ町役場  
 副町長  
 辛島秀典



みやこ町役場  
 総合政策課  
 元松愛文



みやこ町役場  
 総合政策課  
 灰田奈都子



西鉄旅行(株)  
 茂悟史



西鉄旅行(株)  
 三浦瑞穂



京都地域の明るい未来を目指して

# みやこ町

平成 23 年 10 月 7 日発行